

岸記念体育会館移転問題

都は

虚偽答弁

で何を隠したのか？

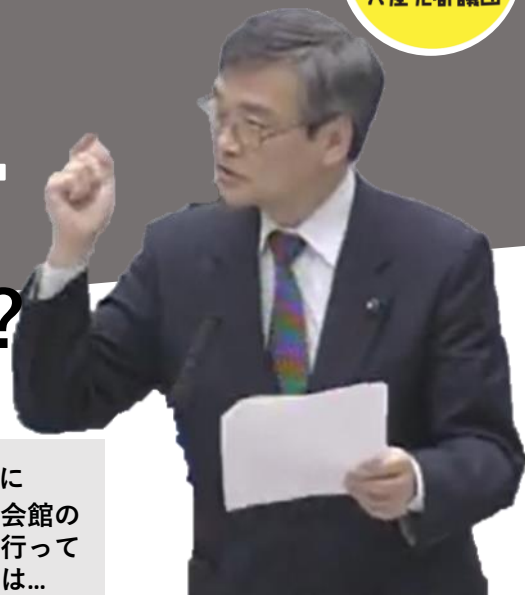
2018年第1回定例会
予算特別委員会代表総括質疑

曾根はじめ都議
(北区)

オリンピックを隠れ蓑に
進められた岸記念体育会館の
移転。都が虚偽答弁を行って
まで隠したかったことは...

JCP TOKYO
Metropolitan Assembly Members

共産党都議団



2018年第一回定例会

予算特別委員会

代表総括質疑から

2018年3月13日

曽根はじめ都議（北区）

■ 都は虚偽答弁を行っていた

○ 曽根委員

次に、岸記念体育会館の問題について質問します。

新年度予算には、日本体育協会の本部があります岸記念体育会館とその土地を、都が買い取るための土地代と移転補償費が計上されていますが、その総額、内容についてお答えいただきたいと思います。

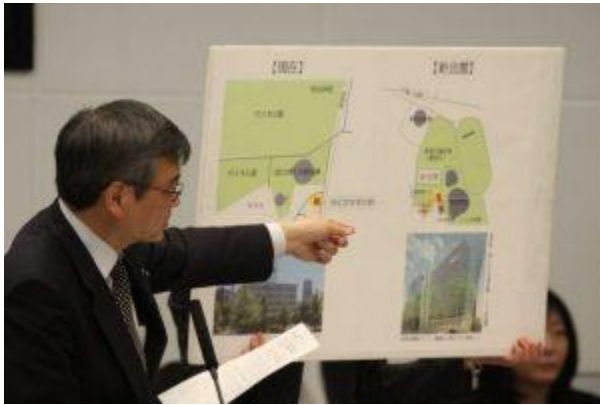
○ 西倉建設局長 代々木公園の用地取得費として予算案に計上いたしました総額は約百二十三億円で、その内訳は、土地

代約九十四億円、補償費約二十九億円でございます。また、補償費約二十九億円の内訳は、建物補償費二十億円、解体費約七億円、そのほか移転に要する費用約二億円でございます。

○ 曽根委員 この問題は、日本体育協会の本部ビルの移転、建てかえのために、

今、国立

代々木体育館の近くの日体協の本部がある岸記念体育会館の敷地を都が九十四億円で購入し、二十九億円の移転補償費まで



出した上に、移転先の神宮外苑の都有地を提供するという計画です。日体協はそのおかげで、今より広い床面積の新築ビルを手に入れることになります。

我が党は、この岸記念体育会館の移転問題について、これまで議会でも取り上げてきました。二〇一六年第一回定例会では、当時の吉田信夫都議が文書質問で、日体協の神宮外苑移転計画を都はいづ知ったのかと質問しましたが、都の回答は、二〇一五年十二月二十二日に、日体協から都に対して、神宮外苑への移転要望が出されたので、都が二〇一六年一月七日に検討を進めることを了承したというものでした。

続いて、白石たみお議員が、二〇一六年五月の都市整備委員会で、日体協の神宮外苑移転について、都は、いつから日体協と話し合っていたのか経緯をたしましたが、都市整備局は、二〇一五年十

二月二十二日に同協会から要望が出されてからだとい体協との協議は、二〇一五年十二月からという答弁を繰り返してききました。

ところが先日、三月一日の白石議員の代表質問への邊見技監の答弁は、突然、変化しました。二〇一五年十二月十五日以前に、神宮外苑の都有地について、移転候補地として都から日体協に示したと、あるいは日体協から都への問い合わせなどがあったのかとの代表質問に邊見技監は、ここにありますように、都が日体協に対して、岸記念体育会館の神宮外苑への移転の検討を二〇一二年に提案していたという、これまでと全く異なる答弁をしました。しかも、岸記念体育会館の現地での、現在の場所での建てかえについては、協会が以前から検討し、都に対して都市計画規制などについての相談が寄せられていたこと、また、二〇一二

年には、都が協会に移転の検討をすることを提案し、それに対し協会からに都に問い合わせたなどがあったことを明らかにしました。

神宮外苑への移転というのは、二〇一五年十二月に日体協から要望が出されるより、はるか以前に、東京都側から日体協に提案し、日体協からも相談が来ていたということになります。

吉田前議員の二〇一六年一定の文書質問への答弁も、また、同じくその年の五月の都市整備委員会の白石議員への答弁も、どちらも議会と議員への答弁として、重い意味を持っているはずで、それに、こんな事実と違う虚偽答弁を行っていたのかということ。どうですか、都市整備局は。

○邊見東京都技監 事実に基づいてお答えをさせていただいてございます。(発言

する者あり) 事実に基づいてお答えをさせていただきます。

○曾根委員 それでは、二つの二〇一六年の文書質問や都市整備委員会での答弁で、初めて神宮移転を知ったのが二〇一五年の十二月だったということと、先日の邊見技監自身の答弁の、二〇一二年から東京都が神宮への移転を働きかけてきた、提案してきたという二つの事実は、どちらが本当なんですか。

○邊見東京都技監 平成二十四年四月に、こちらから提案をしたということを申し上げさせていただいてございます。

加えて、文書質問など、あるいは都市整備委員会での答弁におきまして、平成二十七年十二月に、日体協から正式な移転要望があったということも事実でござ

います。いずれも事実に基づいてお答えをさせていただいてございます。

○曾根委員 吉田元都議の文書質問も、

白石都議の質問も、都が日体協の神宮への移転計画を初めて把握した時期はいつなのかと質問しているんですよ。今、正式にとおっしゃいましたけれども、都が正式に持ち出したという時期を聞いたんじゃないんですよ。神宮外苑の移転計画をいつ把握したのかというのを聞いているのに、なぜ、みずから、東京都の側から正式にとかという答弁の枠をはめるんですか、一方的に。それ、おかしいじゃないですか。

しかもですよ、東京都が私たちに公開した、今回開示された資料には、二〇一年、今お話のあった二〇一二年の前の年の八月に、日体協ビルを神宮外苑に移せないかと検討を始めることを庁内で副

知事まで出席して話し合った文書がありますよね。私たちいただきました、開示して。その会議の出席者には、その五年後に議会で白石都議に答弁した部長も入っていますよ。つまり、白石議員に答弁した部長自身が、みずから足かけ五年も取り組んできたことに一切口を拭って隠蔽したんですよ、都市整備委員会で。これこそ虚偽答弁以外の何物でもないじゃないですか、いかがですか局長、いかがですか技監。

○邊見東京都技監 お話のありました当

時の吉田都議の文書質問あるいは都市整備委員会での答弁は、正式な都市計画協定の契機になる文書のやりとりについて事実を答弁したものでございます。

今回、代々木公園の用地取得経費、予算計上あるいはさまざまな開示請求等いただいて、改めて関連する情報の整理を

行ってございます。これらについて、事実に基づきましてご答弁を申し上げたところでございます。

○曾根委員 文書質問も、都市整備委員

会の二〇一六年の質問も、いずれも正式になるという条件はつけていないにもかかわらず、その前に、東京都として内部で複数の幹部が集まって検討もし、また、日体協とも相談をし合っていたことが、隠蔽されたのはもう間違いないでしょう、その事実。

答弁が虚偽だったことを認めて、これらを撤回、謝罪すべきじゃないですか、技監、いかがですか。

○邊見東京都技監 過去の答弁につきま

しては、先ほど申し上げましたように、そのような考え方に基づいた答弁でございました、虚偽答弁に当たらないと考え

てございます。が、説明に丁寧さを欠いた部分が合ったものと受けとめてございます。

○曾根委員　ここまで指摘されても、虚

偽答弁と認めない、陳謝もしないというのはとんでもない態度ですよ。大体、本会議での技監答弁がなぜこれまでと同じことを聞いているのに、突然、今までと違う答弁したのかと。それは、その直前に、我が党の情報公開請求を通じて都の内部文書が開示された結果、今までの答弁のうそが明白になったからじゃないですか。それでも都市整備局は陳謝すらしないという態度は、都議会と都民を欺くもので絶対に許されません。

例えば、最近のことですが、中央市場は豊洲工場跡地の汚染対策でも、建物下の盛り土をせずに、議会答弁でも、盛り土はあるという虚偽答弁で、都民や議会

を何年も欺き続けてきましたが、さすがに、盛り土がないという事実が明らかにになった段階で陳謝をせざるを得ませんでした。それに比べても、都市整備局の態度は異常過ぎますよ。

■「すばらしい。長生きしないと」(森元首相)

では、都市整備局がなぜ虚偽答弁までして、また、陳謝もせずに真実を明らかにすることを避けようとするのか。それは、森元首相を初め政治家と水面下で相談し、その意に沿うように事を進めてきたことが明らかになるのを恐れたからじゃないですか。

私は以下、森元首相を初め政治家の関与についてただしていきたいと思います。我が党がこの問題で日体協を訪ね、聞き取り調査を行ったとき、そこで二〇一二年三月三十一日発行の日体協百年史と

いう分厚い冊子をいただきました。その中に、第十四代会長の森喜朗氏を、会館の建てかえの道筋を切り開いた功労者としてたえる一文が掲載されていました。

そこにはこうありました。建てかえについては政治力を発揮、会館の土地が代々木公園の公園指定となっており、ビルの高さ制限が設けられるなど複雑な問題が山積している中で、東京都を初め、文部科学省など関係機関と話し合いを行い、理解を求めるなど、高いハードルを超えるための調整をみずから積極的に推進したという文章がありました。

ここに堂々と書いてあるぐらいだから、当然、東京都にも森氏と話し合った記録が残っているはずだと、それで先日のが表質問でたきました。技監の答弁は見当たらないということでした。見当たらないというのは、ないということの違い

ますので、その後、記録は発見できましたか。

○邊見東京都技監　ご答弁申し上げましたように、森氏からの働きかけの記録は見当たらないということに変わりはありません。

○曾根委員　技監は、本日も見当たらないという答弁を繰り返しましたが、ないとはいえませんでした。

森氏からの働きかけはなかったという当事者の、担当者のお話も聞いたと思いますが、いかがですか、担当者は。当時の担当者は。

○邊見東京都技監　先日、先週、当時の都市整備局幹部からヒアリングを行っております。その結果、同様の答えでありました。

○曾根委員　元の都市整備局の幹部の話というのを全く信用できません。

私は、要するに、森元首相とのかかわりが明らかになると都合が悪いから、何とか知らぬ存ぜぬでやり過ごそうという態度だと思いますが、こういう記録は、本来なら情報開示請求で出すべき文書です。行政が議会と都民を欺き続けることは断じて許されません。きちんと事実を答えるべきなんです。

都市整備局があくまで事実を明らかにしないのであれば、私がこれから明らかにいたします。我が党都議団は、森元首相を初め複数の政治家が関与した東京都の記録文書を手入いたしました。ここに四つの文書があります。(★曾根都議が明らかにした資料)以下、この文書に基づいてただしていきます。

まず、第一の文書は、平成二十四年、つまり二〇一二年の五月十五日、十三時

三十分から十三時四十五分、場所は衆議院第二議員会館三〇一号室、先方は森喜朗衆議院議員、都側は当時の佐藤副知事と安井技監が訪ねている記録文書です。タイトルは神宮外苑の再整備についてという文書で、取り扱い注意の印が押してあるものです。

ここで、ステップワンとして、佐藤副知事が神宮外苑の再整備について東京都として考えているイメージをご説明に上がったと挨拶をし、安井技監が説明をしています。

ここで森氏は次のように発言しています。日本青年館は気持ちよく協力してくれる、ここに(JSCのテニスコートに)日体協も移転させるといい、どれぐらいの規模が建つのかと尋ね、これに佐藤副知事が、隣接する明治公園も敷地に使い、(高さ等の)規制緩和が可能と答えています。



説明を聞いた後、森議員は、佐藤さん、すばらしい案じゃないか、長生きしないと大喜びです。さらに、不吉なことをいうようで悪いけど、もし、こっち、（オリンピック招致）のことですが、もしこっちがバツになったらどうすると質問して、これに佐藤副知事から、神宮外苑全体の再整備は進める、安井技監からも、都市計画変更の調整は全体の再整備を前提に進めると説明され、森議員は、すば

らしいよ、あと十五年は長生きしないかと語っている。この記録は、あなた方はお持ちのではありません。事実ですよ

ね、いかがですか。

○**邊見東京都技監** 当時の都市整備局幹部のヒアリングにおいても、神宮全体のまちづくりについて、こちらから説明に伺ったことはあるというふうに答えてございます。

○**曾根委員** さっきの答弁と違うんじゃないですか。森氏と接触もしくは働きかけがあった記録はないというお話でしたが、まちづくり全体については伺ったことがあるということですね。

それでは、この平成二十四年五月十五日に、衆議院の議員会館三〇一号室で森喜朗当時衆議院議員と面会した事実も認めますか、いかがですか。

○**邊見東京都技監** 申し上げましたように、説明に伺ったことはあるということ

でありますので、そういう事実もあろうかというふうに考えます。

■**萩生田元代議士（当時）**とも

○**曾根委員** ますます疑惑は深まるばかりですよ。

次に、第二の文書を紹介します。

森氏との面会の前の平成二十四年二月二十八日、十四時三十分から十五時まで、これは自民党の控室で、当時落選中だった萩生田元衆議院議員と安井技監が面会している文書です。これも東京都がつくったものだと思います。霞ヶ丘競技場の建てかえについて（萩生田元代議士と情報交換）とあります。ここでは、萩生田氏が石原知事から依頼されて国立競技場建てかえのための打ち合わせに、そこに安井技監らが面会しているんです。

この中で萩生田氏が、日体協は、岸記念体育会館の現地での建てかえは財務省

との関係で難しいので、霞ヶ丘に移って、N A A S H、つまり日本スポーツ振興会のことですが、ここと一緒のビルに入りたいといっていると語り、安井技監が、N A A S Hが誘っているのではなく、日体協が望んでいるのかと聞くと、萩生田氏は、日体協が望んでいるようだと言っています。この記録文書も事実ですか。

○**邊見東京都技監** 開示請求、多々たくさんいただいておりますが、例えば、都議会議員からというような形で、いろいろいただいております。今おっしゃった方は、多分、元代議士ということではなかろうかと思えます。

○**曽根委員** 元衆議院議員の萩生田氏と、この時期に前の技監の安井氏が面談したということは、その方に、安井さんにお聞きになったとすれば、この事実はある

たようだとということですか、お認めになるんですか。

○**邊見東京都技監** 申し上げていますように、さまざま、J S C、当時のN A A S Hなどとは、国立競技場の話ですとか、まちづくりの話ですとか、かねてからいろいろな相談をしていたようであります。そういった一環として、こういった事業を進めるに当たっては、いろいろ説明とか、そういったことはなされることはあるうかというふうに考えます。

○**曽根委員** つまり、かなりの頻度で接触があったということじゃないですか。しかも、相手は国政の議員や元議員です。そして、この森氏との面会が実現する五月十五日の五日前には、都庁の中で打ち合わせの会議をやっています。平成二十四年五月十日、十三時から十三時三十

分まで、場所は都庁の佐藤副知事執務室、出席は、佐藤副知事と村山副知事、安井技監、町田都市づくり政策部長、上野再編利活用推進担当部長です。

ここでは、来週の火曜日（十五日）以降に、佐藤副知事が森元首相と会談する方向で調整する（安井技監が同行する）とあります。これは先ほど紹介したように、森元首相との会談は、ここに記されているとおり、五月十五日に行われています。

さらに、七日のプレスホテル祝賀会で、技監と内田顧問が同席した際に森元首相に紹介され、内田顧問から森元首相に対し、岸記念体育会館の移転の話をした経緯ありと、こういう文書が出てきます。

さらに、佐藤副知事と森元首相との会談後、早目に内田顧問に会う方向で調整する（森元首相と内田顧問との間はあけない）とまで書いてあります。

これは都庁の中の会議ですよ。二人の副知事が出席しているんです。この会議の事実の確認できますよね、いかがですか。

○**邊見東京都技監** 今の委員からのお話ですと、例えば、副知事からといったお話でございます。申し上げていきますように、こちらから、いろいろな事業、まちづくりをしている状況にありますので、説明などはしたことがあるというふうに元幹部もいっておりますので、そういったこともあろうかというふうに考えます。

■森元首相の意向に従って

○**曾根委員** いろいろ申し上げる前に、四番目の文書を紹介しておきます。

第四に紹介するのは、これは都市整備局から先日開示のあった文書です。我が党の開示請求でこの文書が出てきました。

平成二十三年、つまり今話題になっている二〇一二年のさらに一年前、二十三年、二〇一一年の八月十九日、十六時五十分から十七時四十五分まで、これまでの記録の前の年です。岸記念体育会館にかかわる今後の方向性について（V2・V4レクメモ）というタイトルです。出席者は、佐藤、村山両副知事、安井技監、町田都市づくり政策部長、上野再編利活用担当部長です。このパネルに、ちよつと小さくなりましたが、四ページにわたる文書で、この中にかなり重要な部分が出てまいります。V4、つまり村山副知事のことだと思いますが、この発言に、最初、五文字黒塗りがあります。この五文字黒塗りとしては、新会館は小さな規模では納得いかないはず、高層ビルを建てたいと思っていると村山副知事が述べています。また、その後で、V2、つまり佐藤副知事が、いずれにしろ、八月八

日の五文字黒塗りへの報告結果や日体協側の判断を聞かないことには始まらないと発言しています。

ここで五文字黒塗りとある部分は、我が党都議団の調査で、森名誉会長だと判明しています。それで間違いないですよ、あなた方が黒塗りしたんだから。間違いないですね、森さんですよ、これは。

○**木村副委員長** 答弁できますか。

○**邊見東京都技監** 開示条例に基づきまして、非開示の判断をさせていただいている部分につきましてはお答えを控えさせていただきます。

○**曾根委員** これ、事実と違うというならいってほしいですよ。私たちは、森名誉会長だと、間違いないというふう

別のルートからわかったんですよ。森名誉会長だったら、公人ですから、黒塗りの対象になるはずありませんよ。黒塗りをしたことが、開示請求の対象としてはならないはずだ、黒塗りに。そのことは申し上げておきます。

この佐藤副知事がいう、いずれにしろ、八月八日の森名誉会長への報告結果を聞かないことには始まらないとはどういうことですか。つまり、東京都の都市行政を進めるのに、元首相の森氏への報告結果を聞かないことには始まらないとは、これはどういうことかと。議会や都民に隠さず、明らかにしてほしいんですよ。なぜその元首相にお伺いを立てないことが進まないんですか、いかがですか。

○**邊見東京都技監** ご答弁申し上げますように、非開示部分につきましてお答えすることは避けさせていただきたいと

考えますが、こちらからの報告はなされているというケースがありますので、その一環かなというふうに考えます。

○**曽根委員** 私は、その報告があったか、ないかということももちろん重要ですが、れども、誰を相手に報告しているのかと。都政で一番、ここでちゃんと相談すべきは、まず、知事であり、そして副知事があり、そして担当局がいるわけでしょう。それなら、何で直接関係のない森元首相のところに行かなきゃならないのかと、ここを聞いているんですよ。こんなわけのわからない話ないじゃないですか。

つまり、国政の政治家が裏で都政の、特にこの都市行政について動かしているということの証明になっちゃうじゃないですか。本当にこんなことがあったのか。その報告というのが、本当に森さんを相手にやったのか、それともほかの別の人

にやったのか、どちらにしても重大な問題だと思いますが、いかがですか。

○**邊見東京都技監** 都は、「二〇二〇年の東京」計画、これは平成二十三年十二月に策定をしてございます。これに、神宮外苑地区のスポーツクラスターの形成に向け、まちづくりを進めるということを位置づけてございます。

スポーツ関連団体の本部機能の集約は、このスポーツクラスター形成に資するということ考えのもとに、日本体育協会に岸記念体育会館の移転の検討を提案したものでございます。

そういった観点から検討を進め、こちらからも報告等はなされているということとは申し上げているとおりでございます。

○**曽根委員** スポーツクラスター、全く理由になりませんよ。神宮外苑地区のス

ポーツクラスターに日体協のビルはなくても構わないと、皆さん思っていたじゃないですか。現地建てかえを考えていたんだから。これほどわかりやすい話ありませんよ。ポーツクラスターというのは後から、もう現地建てかえが、日体協、岸記念体育会館の建てかえはできなくなつたんで、万やむを得ず神宮外苑に移す、そのための理屈で、後からついたものじゃないですか。

大体、国政でも、今、森友学園に国有地を格安で売却しようとした問題で、安倍首相夫人の関与が疑われて、文書の書きかえが大問題になっています。岸記念体育会館問題は、会館敷地の売却ではなく購入という、東京都が購入するという問題ですけれども、この問題では、本来、情報開示すべき文書を東京都都市整備局が隠し続けて、そして、開示しても森元首相の名前は黒塗りにするという、この

異常ぶりが問題なんですよ。

しかし、私が明らかにしたように、これは、森元首相や政治家が関与して、その意向に沿って都市行政がゆがめられて、百二十三億円もの都民の税金が投入されようとしている重大問題です。

私は、この問題の全容を明らかにするために、今私が紹介した文書を予算特別委員会に黒塗りなしで提出させるように求めます。また、ここに登場する、まずは森喜朗元首相と当時の安井技監をこの予算特別委員会に参考人として招致するよう、委員長に取り計らいを要請いたしますが、ぜひ理事会で協議していただきたい。いかがですか。

○木村副委員長 質問を続けてください。

○曽根委員 理事会で協議していただきたいんですが、いかがですか。

○木村副委員長 質問を続けてください。曽根理事、質問を続けてください。

○曽根委員 質問で理事会の協議を求めているんですから、理事会の協議は当然やるべきでしょう、いかがですか。委員長。

○木村副委員長 質問を続けてください。曽根理事、質問を続けてください。

○曽根委員 委員長、その采配はおかしいですよ。議会のルールにのっとっていません。抗議しておきます。

2018 年 3 月 13 日都議会予算特別委員会総括代表質疑で、
日本共産党の曾根はじめ議員が明らかにした文書（４点）

神宮外苑の再整備について

○日時 平成24年5月15日 13:30~13:45

○場所 衆議院第二議員会館 301号室

○先 方：森喜朗衆議院議員

東京都：佐藤副知事 安井技監

〈佐藤〉・神宮外苑の再整備について、東京都として考えているイメージをご説明にあがった（別紙参照）。

【STEP1】

〈安井〉・ラグビーW杯・オリンピック開催の前後二段階で全体を再整備、新競技場の敷地、競技場周辺のバリアフリー化と都市計画公園の付け替えのために人工地盤を整備、サブトラックは競技場敷地の外、NAASH本部・日本青年館の移転先としてテニスコート（NAASH所有）を想定、スケジュール的に可能な範囲で駅からのアクセスを改善、再整備は二段階になるが都市計画変更に必要な調整は同時にスタート等について説明。

〈森〉・（霞ヶ丘アパートの）住民の移転は大丈夫か？

〈佐藤〉・（住民が入居した経緯、店舗の存在等を説明し）近くにある他の都住に移転してもらえるために国策として計画を進めていくことが必要。

〈森〉・日本青年館は気持ちよく協力してくれる。ここに（NAASH所有のテニスコートに）日体協も移転させるといい。どのくらいの規模が建つのか？

〈佐藤〉・隣接する明治公園も敷地に使い、（高さ等の）規制緩和が可能。

〈森〉・昨日、安藤（忠雄）さんと会った。国際コンペで世界に発信するのは良いけど、スケジュールが遅れるんじゃないの（と言っておいた）。彼を東京都に連れてきたのは石原さんだ。石原さんが（スケジュールを遅らせないように）彼に言わなくちゃ。

【STEP2】

〈安井〉・オリンピック終了後に第二段階の整備をスタート、第二球場跡地に恒久サブトラック、神宮球場とラグビー場の敷地の入れ替えの利点（明治神宮所有地の商業的な利用増進、両競技の中断を回避、ラグビー場の芝の養生）、青山通り沿道の民間再開発の動向、外苑前駅地下道の延長可能性等について説明。

〈森〉・佐藤さん、すばらしい案じゃないか。長生きしないと。サブトラックもここがいい。（神宮球場とラグビー場の入れ替えについて）ラグビー場の芝もその通りだし、新競技場とサブトラックに近いほうがいい。港

区は喜ぶんじゃないかな。

〈佐藤〉・明治神宮の協力が必要。

〈森〉・相手が神様だから大変だな。絵画館はどうするの？

〈安井〉・銀杏並木からの眺めを含め絵画館周辺の景観は維持する。

・外苑前駅からのアクセスを改善するためには TEPIA の移転が必要。

〈佐藤〉・トレーニング・ジムがあるが（施設全体が）余り使われていない様子。

〈森〉・あれは昔、日本最初のボーリング場だったんだよ。若い頃は我々もここで練習した。どういう経緯で経産省に渡ったかわからない。NAASH は本部の一時移転先に TEPIA を考えていた。ラグビー協会も時々使うけど、あの場所に要らないな。

・不吉なことを言うようで悪いけど、もしこっち（オリンピック招致）が×になったらどうする？

〈佐藤〉・神宮外苑全体の再整備は進める。

〈安井〉・都市計画変更の調整は全体の再整備を前提に進める。

〈森〉・すばらしいよ。あと15年は長生きしないと。

霞ヶ丘競技場の建替えについて（萩生田元代議士と情報交換）

○平成 24 年 2 月 28 日 14:30～15:00

自民党控え室

○概要

〈萩生田〉・先々週の金曜日、知事から「猪瀬と相談してくれ」と言われた。オリンピックの件で猪瀬氏は関係してるのか。

〈安 井〉・関係していない。担当は佐藤副知事である。

〈萩生田〉・東京マラソンに出たりして最近、露出してるな。スポーツ立国議連で森元首相から「競技場施設そのものは国。しかし都が一生懸命汗をかいてくれないと困る。君が、文科省、NAASH、都を横断的に調整してくれ」と言われている。

・（別図を広げながら）日建設計がこんな案を検討している。国が踏み出すことを都が待っていては遅い。

〈安 井〉・承知しており、私の局が中心に副知事と相談しながら内々検討している。私も日建と会い、検討作業の方向を確認している。

〈萩生田〉・日建もそう言っていた。広いエリアで考える必要があるし、実現する時は自民党政権に戻っている。今の機会しかこの整備は出来ない。

〈安 井〉・まずは競技場の敷地を固めて事業計画を決められるよう地元区の説得が必要だ。その上で周辺の再整備の方針—直接的な権利制限は無い—を定めて段階的に他の区域も奥体の整備計画を定められるようにしておく。

〈萩生田〉・そのような案の作成はスポ振局では無理だろう。

〈安 井〉・競技場の事業者である NAASH がまとめるべきだが、都が素案を実質的に作り、NAASH からそのまま提案させるような形にさせたい。NAASH 側に都と調整できるカウンターパートナーはいるか。

〈萩生田〉・藤原理事が良いのではないか。会ったことあるか。

〈安 井〉・河野理事長の随員として二度会っている。信用できる方か。都市計画決定まで継続的に調整できるか。

〈萩生田〉・信用できる。彼はこの話をまとめないと（文科省に）帰れないだろう。

〈安 井〉・調整できる技術職員はいないか。

〈萩生田〉・聞いてみる。藤原理事と我々の三人で会おう。ところで、日体協は岸記念体育館の現地での建替えは、財務省との関係で難しいので、霞ヶ丘に移って NAASH と一緒にビルに入りたいと言っている。

〈安 井〉・NAASH が誘ってるのではなく、日体協が望んでいるのか。

〈萩生田〉・日体協が望んでいるようだ。

V2V4レク議事メモ（部長からの聞き取り）

日 時：平成24年5月10日（木） 13:00～13:30

場 所：佐藤副知事執務室

出席者：佐藤副知事、村山副知事

安井技監、町田都市づくり政策部長、上野再編利活用推進担当部長

【主な内容】

- 来週の火曜日（15日）以降に、佐藤副知事が森元首相と会談のする方向で調整する。（安井技監が同行する。）
- 7日のパレスホテル祝賀会で、技監と内田顧問が同席した際に、森元首相に紹介され、内田顧問から森元首相に対し、「岸記念体育会館も国立競技場（神宮外苑地区）の建替えに合わせて移転した方が良い。」と発言。
- 以前、佐藤副知事から内田顧問、森元首相に岸記念体育会館の移転の話をした経緯あり。
- 佐藤副知事と森元首相との会談後、早めに内田顧問及び高島顧問に会う方向で調整する。（森元首相と内田顧問との間はあけない。）
- 霞ヶ丘アパートの話が出て行くのは、7月頃か？（デザイン・コンクールの公募条件の公表時期？）
- デザイン・コンクールの公募条件に、霞ヶ丘アパートの敷地を「検討範囲」として入れる。（競技場の建替え敷地という位置付けの条件ではない。）
- 明治神宮への接触開始時期については、他の案件の知事への副知事報告時に佐藤副知事から聞いてみる。

平成23年8月19日

岸記念体育会館に係る今後の方向性について（V2・V4レクメモ）

日 時：平成23年8月19日（金） 16:50～17:45

出席者：佐藤副知事、村山副知事

安井技監、町田都市づくり政策部長、上野再編利活用推進担当部長

（渡邊係長、大塚）

■日体協による鑑定評価について

技監）財政の見通しが示されないと財務省は話を受けてくれないと思う。

V2）そうだろうな。財務省は事業計画を気にするだろうな。日体協はそのことはちゃんと認識しているのか？

技監）認識していると思う。

V2） はまず、自分たちで使用する部分の建設費 。上乗せ容積については、金がかかるなら無理、となるのではないのか？

V4） は、9月14日は何のためにV2を訪問するのか。

技監）詳細はわからない。建物計画の話はしない、とは聞いている。

V2）挨拶に来ると言っている。とりあえず話は聞いてみるが、前提が自己使用部分の建設だけということであれば、上乗せ容積の話を今後進める意味はない。使いやすい所に自己使用部分だけを建てるという話。土地交換もいらないかもしれない。

■神宮外苑エリアの状況について

V2）外苑ハウスの地権者は動いても良いと言っているのか？

技監）そのように言っている。

V2）国立霞ヶ丘競技場の建替えは、いずれにする2019（ラグビーワールドカップ）までにはやる話。明治公園との関係や競技場周辺に更地を作りたい関係などから、都営霞ヶ丘アパート用地をからめて一緒に考えられないか、との話は聞いている（：スポ振から？）が、それは10年かかってしまうのでダメだと言っている。もしスムーズに進むのであれば・・・

技監）実は、ここに岸記念体育会館も絡ませて、例えばスポーツのメッカを作るというようなことでの土地の回しの段取りを、現実性があるかどうか検討を行いたいと思っている。。

V2）日体協の元の敷地はどうなるのか？

技監）例えば都が買うというようなことも・・・

V4）それで日体協はこっち（：神宮外苑）の土地を確保すると。

V2）うまくいくか・・・？

技監) お金とスケジュールだと思う。オリンピックも日体協も、スケジュールを示している。それらがあってくるかどうか。

V2) 霞ヶ丘アパートの住民には移ってもらうことになるのか?

上野) 青山北町アパート敷地に受け皿を確保する。霞ヶ丘アパートの土地は空くことになる。原宿・神宮前アパート用地と隣接する国有地を活用して回したい。

V2) それだけの受け皿の確保は可能なのか?

上野) 一時的な仮移転は必要になるが可能と考えている。

V4) 容積は十分か?

上野) 400%であり十分である。

技監) 青山北町アパートに隣接する青山通り沿道部分も一緒にやった方が良く思っている。

V2) でも時間はかかるよな。

技監)

V4)

技監)

V2)

技監) この話は、原宿・神宮前アパート南側の国有地を使わないとうまくいかない。都が買った方が良く思っている。

上野)

V4) 都が買うのは良いが・・・、住宅で使うことになるのか?

上野) 受け皿確保のために、その土地がないと回せない。

V4)

技監)

V2) いろいろと可能性はありそうだな。

V2) 岸記念体育会館がここに来るかどうかはわからないけど・・・(笑)

V4) 検討は進めてみて、岸記念体育会館が入ってくるかどうか、ということだな。

V2) 日本青年館の土地もある。

V4) あれも古いよな・・・

技監) スポーツのメッカにする、というようなことも可能性がないわけではないと思う。

V4) すべて文科省がからんでいるな。

V2)

V2) スケジュールと一緒に考えてみてもらいたい。何より優先するのは霞ヶ丘競技場の建て替え。そのスケジュールの中でできるのかどうか。

■岸記念体育会館に関する今後の検討について

V2) 日体協が次の目標を平成25年3月としているのだとすれば、水道局はそこまで待てないのではないか？財務省にとっても、そこまで待たせて、結局日体協からお金は払えないということになると、何のために待っているのか、となる。

V4) 平成25年3月を早めるためには、都に早めるためのネタをくれ、となるよな。

V2) 国からの容積移転は難しいとなると、やるなら水道企業用地として都が取得して、ということも考えられるが、未利用容積活用はそれでも同じ。そこは国でも都でも変わらない。そうなると、計画つぶれます・・・、だよな。

V4) 都市計画規制を解除して容積率400%にアップすることは可能ということでしょうか？

V2) そこへ戻るよな・・・。

技監) 都市計画的な理屈がつけば可能と考えるが、日体協敷地単独の開発となると難しい。

V2) そこは文科省に全面に出てもらおうのだろう。文科省に発意してもらおう。それしかないだろう。

V4) 容積移転をせずに、土地交換だけ行うということはあるのか？日体協が南側に敷地を移したいということだとすると、土地交換だけやってくれ、ということで財務省にお願いしたい、ということになるかもしれない。

技監) その可能性はあるかもしれない。

V4) 計画を早く進めたいなら、文科省に頑張ってもらうんだな。

V2) 交換だけなら、都有地にしてしまって土地交換を、ということも話もあり得るのか・・・？でも、都市計画を外す理屈がないことには変わらないか。

V4) (都市計画を外すことは)地域にとって良い事は何も無い。大義名分がなさすぎる(笑)

V2) 水道局にとっても、敷地が北側の方が良い、という理屈は作れるとは思う。ただ、都市計画規制は外さなくてよいよな(笑)

岸記念体育会館が自己使用部分だけということになれば、準公用の用途。都市計画規制を解除する理屈をどうつけるかだな・・・。

V4) 一応、公的といえるのか？？

V4) そういう準備を都側でしておくか、だが・・・

技監) 日体協に対してこちらからこれで良いか？と聞くことはできない。

V2) 日体協が「無理」を無理と判断すれば、次の策を考えなければならない。土地交換だけではどうか、とか、水道用地として取得して、とか・・・。ただ、日体協側の「無理」は無理という判断がないと次へ進めない。

V2) 通常ならば「無理」かかって「無理」稼げば良いではないか、となるかもしれないが、日体協の場合は最初に(デベロッパーからの前払い地代として)「無理」をもらうだけ。これでは容積移転は難しいだろう。

V4) 「無理」としては、新会館は小さな規模では納得いかないはず。高層ビルを建て

(森名誉会長)

たいと思っている。とすれば、[]を[]にするような働きかけをするということ
はあり得るのか?そこを都に何とかしてくれ、とか。[]を圧縮してく
れ、ということになると・・・、慎重にならなければならないな。でも、そう言っ
てきそうだな。

V2) いずれにしろ、8月8日の^(森名堂会長)[]への報告結果や日体協側の判断を聞かないこ
とには始まらない。[]にでも聞いてみる。

以上

●動画

- ・ 都は虚偽答弁で何を隠したのか？ 岸記念体育会館移転問題 vol.1

<https://www.youtube.com/watch?v=B0UZLd-GRio>



- ・ 面会先は森喜朗元首相 岸記念体育会館移転問題 vol.2

<https://www.youtube.com/watch?v=QIQSDfytoGk>



- ・ 2018 年 3 月 13 日 第 1 回定例会 予算特別委員会代表総括質疑①

曾根はじめ都議（北区選出） （4：56 ～）

<https://www.youtube.com/watch?v=MPdLUNfesDk>



- ・ 2018 年 3 月 26 日第 1 回定例会 予算特別委員会締め括り総括質疑

大山とも子都議（新宿区選出） （23：20 ～）

<https://www.youtube.com/watch?v=9LEFVrRg7bk>



岸記念体育会館問題の論戦

日本共産党東京都議会議員団

●日本共産党都議団ホームページの特集ページ

<https://www.jcptogidan.gr.jp/special/3701/>



- ・ 2018 年 3 月 26 日 【予算特別委員会】 大山とも子都議の締め括り総括質疑
- ・ 2018 年 3 月 19 日 【都市整備委員会】 岸記念体育会館の移転に関する都市整備局の公文書
- ・ 2018 年 3 月 13 日 【予算特別委員会】 曽根はじめ都議が明らかにした岸記念体育会館移転に関する資料
- ・ 2018 年 3 月 13 日 【予算特別委員会】 曽根はじめ都議の代表総括質疑
- ・ 2018 年 3 月 12 日 【記者会見】 岸記念体育会館の移転をめぐる不可解な経過について
- ・ 2018 年 3 月 1 日 【本会議】 白石たみお都議の代表質問

●東京都議会議事録から

- ・ 2018 年 3 月 19 日 【都市整備委員会】 白石たみお都議の質疑
<https://www.gikai.metro.tokyo.jp/record/urban-development/2018-03.html>



ご意見・ご要望をお寄せください

発行：日本共産党東京都議会議員団

2022 年 1 月

〒163-8001

東京都新宿区西新宿 2－8－1

電 話 03-5320-7270

F A X 03-5388-1790

<https://www.jcptogidan.gr.jp>